



2021年1月28日

報道関係者 各位

AIを活用した問い合わせ受付機能や、  
全国に先駆けた防災機能（LINE SMART CITY GovTech プログラム）などを実装  
**春日市LINE 公式アカウント、4機能を追加リリース**

福岡県春日市は、LINE Fukuoka株式会社と「LINE SMART CITY GovTech プログラム」の開発において、実証実験自治体として協力してきました。

2020年8月31日には、このプログラムのモデル第1号となる「春日市LINE公式アカウント」のサービスを開始。アカウント開設から約5カ月で、**約1万人**（1月28日現在：9,784人）の友だち登録者数を獲得するに至りました。

この度、市民サービスの更なる拡充を目的として、**4つの機能（防災機能、AIによる案内・回答機能、コミュニティバス時刻表表示、学習アプリ）**を追加します。

記

1 リリース日 2021年2月1日（月）

**【リリースに関する問い合わせ】**

春日市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当 榎田（えのきだ）

〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5

電話 092-584-1111 Fax 092-584-1145

※1/30(土)、31(日)の連絡先 080-3977-2525

Email koho@city.kasuga.fukuoka.jp Web <https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/>

## 2 追加機能

### (1) 防災機能

これまで、災害時にLINEを活用して防災情報などを「セグメント配信」する機能を搭載していましたが、防災分野に**新たな3つの機能を追加**し、発生の予測ができない災害に向けた市民への情報提供や防災知識啓発の仕組みを構築します。

LINE SMART CITY GovTech プログラムを活用し、防災機能を実装するのは、**春日市が全国初の事例となります。**

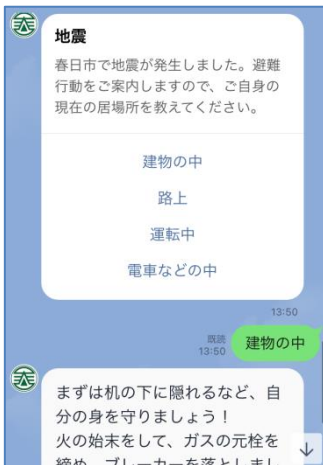
#### ① 災害時モードへの自動切り替え

災害発生時に、ユーザーの画面が自動的に「災害時モード」に切り替わります。

災害時モードのメニュー画面→



#### ② 避難行動支援チャットボット



適切な避難行動を、チャットボットで案内する機能です。地震や大雨、台風などの災害種別や市民の状況（屋内 or 屋外）などに応じた適切な避難行動を伝えます

※災害発生時には、避難行動支援の案内が画面に表示されます。

←避難行動案内画面のイメージ

#### ③ 位置情報による避難所検索

防災知識の啓発を目的として、ユーザーの位置情報をもとに、最寄りの避難所を確認することができる機能を追加しました。

※災害発生時には、開設されている避難所のみが表示されます。

避難所検索画面のイメージ→

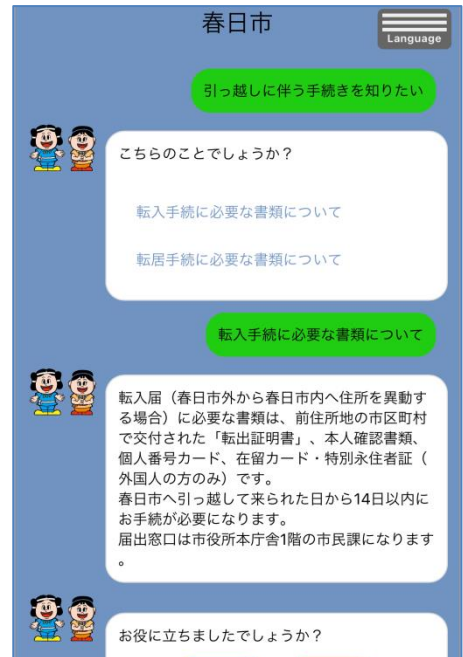


## (2) AIによる手続き案内・問い合わせ回答機能

市民の利便性向上を目的に、AI（人工知能）を活用したチャットボットサービスを開始します。24時間いつでも利用することができ、市役所の手続きや制度などに関する質問に対し、AIが対話形式で回答したり、質問の回答に該当する市ウェブサイトのページを案内したりします。

### 案内・回答に対応している15分野

住民票・印鑑登録・証明書、戸籍、結婚・離婚、  
マイナンバー、引っ越し、死亡、妊娠・出産、  
国民年金、国民健康保険、介護保険、税、子育て、  
ごみ、ペット・害虫、学校・教育



## (3) コミュニティバス「やよい」時刻表案内機能

市ウェブサイトでは、最もアクセス数が多い情報（年約8万アクセス）であり、市民からも要望があったコミュニティバス時刻表の表示機能を設けました。

### 案内方法



①春日市LINE公式アカウントのリッチメニューから「コミュニティバス」を選択

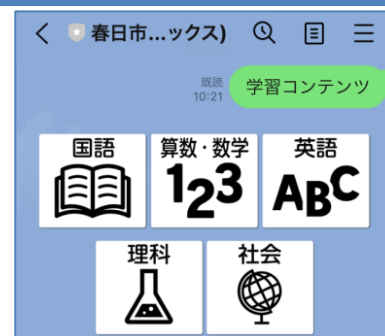


②利用したい路線名などを選択  
→対象の時刻表が表示される

## (4) 学習アプリ「manaboo (マナボー)」

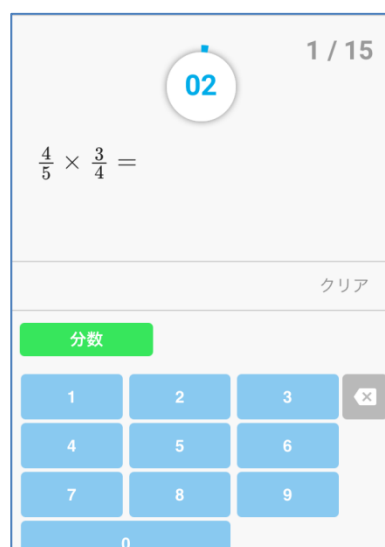
県内でも新型コロナウイルスの第3波が広がる中、児童・生徒に対する学習支援の一助とすることなどを目的として、学習アプリ「manaboo (マナボー)」を試行的に設けました。

小・中学生や高校生の学習支援はもちろん、大人も、一般常識の学び直しや、脳トレとしても活用できます。



### アプリの仕様

- ・スマートフォンがあれば、いつでもどこでも学習ができる
- ・市LINE公式アカウント上で「1問1答形式」で解く
- ・主な対象は小・中学生、高校生
- ・教科は国語、算数／数学、英語、理科、社会の5科目
- ・回答率や回答スピードなどが表示され、ゲーム感覚で知識を深めることができる



## 3 参考

### (1) 「LINE SMART CITY GovTech プログラム」とは

LINE Fukuoka 株式会社が、LINE SMART CITY FOR FUKUOKA の取り組みで生まれた福岡市LINE公式アカウントをモデルに開発した自治体向けのプログラムであり、無料通信アプリLINEを活用したスマートシティ化を全国に普及していくことを目的とするものです。



このプログラムの「プログラミングコード」は無料で公開され、全国の自治体が汎用的な機能を有するLINE公式アカウントを、よりスピーディかつ低コストで開設できるようになります。

### (2) その他の春日市LINE公式アカウント導入機能

8月31日に市LINE公式アカウントを開設。開設当初から「防災情報」、「セグメント配信機能」、「ごみ分別FAQ機能」、「公園・河川の損傷通報機能」の4機能を導入しています。

以上